

— 総括表 —

◆ 事業計画

<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>令和6年3月末の人口データによると、霧が丘地区の人口は11,657人で、そのうち65歳以上の高齢者は3,451人です。高齢化率は29.6%と、住民の高齢化が進んでおり、特に団塊の世代が多く暮らしていることから、今後さらに後期高齢者の割合が増えると予想されます。一方で、介護認定率は15.04%と市内の包括圏域の中で2番目に低く、元気な高齢者が多い地域でもあります。また、外国人住民も多く、特に賃貸集合住宅には子育て世代のインド人家庭が多く住んでいることも特徴です。</p> <p>霧が丘地区の住宅整備から45年以上が経ち、住民の高齢化が進む中で、見守りネットワークの維持や地域のつながりづくり、介護予防や認知症予防への取り組み、支え手となるボランティア活動の仕組みづくりが課題となっています。こうした課題に対応するため、霧が丘地域ケアプラザでは「霧が丘まちともプラン」を推進しています。このプランでは、「いきいきと暮らす」「仲間とつながる」「学んで備える」「安心して暮らす」の4つをテーマに掲げ、専門的な視点を活かしながら地域と共に取り組んでいます。これにより、住民主体で継続可能な支え合いの仕組みを地域資源として根付かせることを目指しています。</p> <p>また、今後の生活に備えるための老い支度の準備や成年後見制度の活用を促し、「老い」を前向きに捉えられるよう支援していきます。さらに、SNSを活用し、地域の情報を積極的に発信することで、より多くの住民に必要な情報が届くよう努めていきます。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	
— 具体的な取組内容 —		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	横浜市「チームオレンジ」事業として、霧が丘キャラバンメイト連絡会を定期開催し、認知症サポーター養成講座を自治会や学校、地域住民等で開催し、さらに理解が広がるようにする。当事者の想いを聞くための、「本人ミーティング」を開催し、地域で今まで通り活躍できる場を作っていく。認知症を発症しても霧が丘で安心して住み続けられるよう啓発を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	養育者の意見を聞く機会として子育て支援座談会を開き、養育者のニーズや課題、近隣で困っている養育者の情報を聞く。養育者のニーズや課題は子育て支援事業に取り入れ、養育者に寄り添った内容として参加者を増やす。困っている養育者の情報は、こども家庭支援課など関係各所につなぐ。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	障害児者と地域住民が交流できる「霧が丘あおぞら・ほっとる一む」を開催し、ケアプラザが障害児者のサードプレイスとなるように、また専門相談が受けられる場とする。また、地域住民が得意な活動で、障害者と交流するボランティア活動の場として提供する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「霧が丘健康チェックの日」を保健活動推進員と協力して開催し、健康づくり・介護予防の意識を高める。毎月開催することで、地域の見守りと支え合いの活動につなげていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	単位自治会やUR管理組合等と連携し、ミニ健康チェックや出張相談会・出張健康講座を開催することでケアプラザの周知に努める。地域で主体的に行っている活動に参加し、顔の見える関係づくりを行うことで相談しやすい体制づくりを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

<input type="checkbox"/> 振り返り
<input type="checkbox"/> 区からのコメント

# 令和7年度霧が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	公共施設であることを常に念頭に置き、住民、地域団体、サービス事業所等に対して、公正かつ中立な立場で業務を遂行するよう努めます。また、利用者が事業所を選択する際には、オリジナルの「サービス事業所一覧」を活用し、特定の事業所に偏らないよう配慮します。	事業運営において、事故の予防に十分配慮し、万が一事故が発生した場合には、迅速かつ的確に対応できる体制を整えます。また、個人情報を取り扱う際には、その保護の重要性を認識し、適切に管理・取り扱い、個人の権利や利益を侵害することがないように努めます。
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	プランに地域のインフォーマルサポート等を組み込む等、地域の特性を生かし、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチすることで、自立を支援していく。	地域との「顔の見える関係」や「つながり」を大切に、利用者様自身の立場に立ち、住み慣れた地域でその方らしく、より自立した生活を過ごしていただけるよう支援していく。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】 なし
職員体制	管理者 1名(兼務) 社会福祉士 1名 保健師 1名 主任介護支援専門員1名 プランナー2名	管理者 1名(兼務) 主任介護支援専門員 2名 介護支援専門員 2名
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護
目標	生活基盤を整えるサービスを行い、在宅生活の継続をサポートする。他者との交流や体操等に取り組み、介護度維持につなげる。	ご家族様と密に連携を図り、在宅支援を行う中でそれぞれのニーズに合ったサービス提供を行う。
実施体制	<b>【実施日数】</b> 月曜日～土曜日 <b>【提供時間】</b> 9:30～18:00 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> 月曜日～土曜日 <b>【提供時間】</b> 9:30～18:00 <b>【定員】</b> 12名
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額
	<b>【1割負担】</b> ●7-8単位 要介護1: 706円 要介護2: 833円 要介護3: 965円 要介護4: 1,097円 要介護5: 1,231円 入浴加算 43円 体制強化加算 I 24円 送迎減算 -52円 口腔機能向上 II 172円 科学的介護 43円 ADL(I) 33円  (総合事業) 要支援1: 1,928円 要支援2: 1,928円、3,882円 送迎減算 -51円 科学的介護 43円 口腔機能向上 II 172円 体制強化加算 I/II 95円/189円  <b>【その他料金共通】</b> 食事負担(おやつ代含む)800円 レクリエーション代 100円～	<b>【1割負担】</b> ●7-8単位 要介護1: 1,082円 要介護2: 1,199円 要介護3: 1,317円 要介護4: 1,435円 要介護5: 1,553円 入浴加算 44円 体制強化加算 I 24円 送迎減算 -52円 口腔機能向上 II 174円 科学的介護 44円 ADL(I) 33円  <b>【その他料金】</b> 食事負担(おやつ代含む)800円 レクリエーション代 100円～
職員体制	管理者1名 相談員1名 看護師1～2名 介護職5名	管理者1名 相談員1名 看護師1～2名 介護職3名
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b>  <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b>  <b>【契約者数】</b>

令和7年度「霧が丘(地活)」  
収支予算書及び報告書(一般会計) <(参考) 地域活動交流>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	<b>21,231,566</b>	<b>0</b>	<b>21,231,566</b>	<b>0</b>	<b>21,231,566</b>	横浜市より
内 受領額	21,231,566		21,231,566		21,231,566	
内 戻入額					0	
<b>自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>雑入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
内 印刷代	0		0		0	
内 自動販売機手数料	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
<b>その他</b>	<b>3,990,000</b>	<b>0</b>	<b>3,990,000</b>	<b>0</b>	<b>3,990,000</b>	
<b>収入合計</b>	<b>25,221,566</b>	<b>0</b>	<b>25,221,566</b>	<b>0</b>	<b>25,221,566</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>13,944,527</b>	<b>0</b>	<b>13,944,527</b>	<b>0</b>	<b>13,944,527</b>	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	10,714,527		10,714,527		10,714,527	
内 社会保険料	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
内 手当計	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
内 健康診断費	30,000		30,000		30,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	300,000		300,000		300,000	
内 その他	0		0		0	
<b>事務費</b>	<b>4,600,000</b>	<b>0</b>	<b>4,600,000</b>	<b>0</b>	<b>4,600,000</b>	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	120,000		120,000		120,000	
内 消耗品費	1,885,000		1,885,000		1,885,000	
内 会議諸費	50,000		50,000		50,000	
内 印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
内 通信費	700,000		700,000		700,000	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料(横浜市への支)	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	50,000		50,000		50,000	
内 図書購入費	100,000		100,000		100,000	
内 施設賠償責任保険	300,000		300,000		300,000	
内 職員等研修費	300,000		300,000		300,000	
内 振込手数料	35,000		35,000		35,000	
内 リース料	250,000		250,000		250,000	
内 手数料	130,000		130,000		130,000	
内 地域協力費	80,000		80,000		80,000	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
その他	550,000		550,000		550,000	
<b>事業費</b>	<b>760,000</b>	<b>0</b>	<b>760,000</b>	<b>0</b>	<b>760,000</b>	法人本部経費は含まれていない
内 自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	760,000		760,000		760,000	
内 その他	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>5,401,039</b>	<b>0</b>	<b>5,401,039</b>	<b>0</b>	<b>5,401,039</b>	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	1,712,000		1,712,000		1,712,000	
内 清掃費	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
内 機械警備費	70,000		70,000		70,000	
内 設備保全費	454,000		454,000	0	454,000	
内 空調衛生設備保守	52,000		52,000		52,000	
内 消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
内 電気設備保守	195,000		195,000		195,000	
内 害虫駆除清掃保守	37,000		37,000		37,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	120,000		120,000		120,000	
内 共益費	0		0		0	
その他	1,565,039		1,565,039		1,565,039	物価高騰支援金
<b>修繕費</b>	<b>474,000</b>	<b>0</b>	<b>474,000</b>	<b>0</b>	<b>474,000</b>	予算:指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕(追加)			0		0	
<b>その他</b>	<b>42,000</b>	<b>0</b>	<b>42,000</b>	<b>0</b>	<b>42,000</b>	運営協議会経費
内	0		0		0	
<b>支出合計</b>	<b>25,221,566</b>	<b>0</b>	<b>25,221,566</b>	<b>0</b>	<b>25,221,566</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

自主事業費 収入	180,000	0	180,000	0	180,000
自主事業費 支出	760,000	0	760,000	0	760,000
自主事業 収支	△ 580,000	0	△ 580,000	0	△ 580,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和7年度「霧が丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料【包括】</b>	<b>26,390,281</b>	<b>0</b>	<b>26,390,281</b>		<b>26,390,281</b>	横浜市より
内 受領額	26,390,281		26,390,281		26,390,281	
内 戻入額					0	
<b>指定管理料【介護予防】</b>	<b>154,000</b>		<b>154,000</b>		<b>154,000</b>	横浜市より
<b>指定管理料【チームオレンジ】</b>	<b>200,000</b>		<b>200,000</b>		<b>200,000</b>	横浜市より
<b>指定管理料【生活支援】</b>	<b>6,168,724</b>		<b>6,168,724</b>		<b>6,168,724</b>	横浜市より
内 受領額	6,168,724		6,168,724		6,168,724	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	0		0		0	
<b>収入合計</b>	<b>32,913,005</b>	<b>0</b>	<b>32,913,005</b>	<b>0</b>	<b>32,913,005</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>27,981,605</b>	<b>0</b>	<b>27,981,605</b>	<b>0</b>	<b>27,981,605</b>	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	23,457,605		23,457,605		23,457,605	
内 社会保険料	350,000		350,000		350,000	
内 手当計	150,000		150,000		150,000	
内 健康診断費	64,000		64,000		64,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	3,960,000		3,960,000		3,960,000	
内 その他	0		0		0	
<b>事務費</b>	<b>1,713,700</b>	<b>0</b>	<b>1,713,700</b>	<b>0</b>	<b>1,713,700</b>	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	53,000		53,000		53,000	
内 消耗品費	140,000		140,000		140,000	
内 会議随時費	10,000		10,000		10,000	
内 印刷製本費	10,000		10,000		10,000	
内 通信費	380,000		400,000		400,000	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	0		0		0	
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	185,000		185,000		185,000	
内 職員等研修費	23,000		23,000		23,000	
内 振込手数料	23,000		23,000		23,000	
内 リース料	150,000		150,000		150,000	
内 手数料	95,000		95,000		95,000	
内 地域協力費	40,000		40,000		40,000	
内 公租公課	0		0		0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 その他	604,700		604,700		604,700	
<b>事業費</b>	<b>1,529,000</b>	<b>0</b>	<b>1,529,000</b>	<b>0</b>	<b>1,529,000</b>	法人本部経費は含まれていない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	230,000		230,000		230,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
内 その他	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>1,562,700</b>	<b>0</b>	<b>1,562,700</b>	<b>0</b>	<b>1,562,700</b>	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	1,254,700		1,254,700		1,254,700	
内 清掃費	570,000		570,000		570,000	
内 機械整備費			0		0	
内 設備保全費	0	0	0	0	0	
内 空調衛生設備保守			0		0	
内 消防設備保守			0		0	
内 電気設備保守			0		0	
内 害虫駆除清掃保守			0		0	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費			0		0	
内 共益費			0		0	
内 その他	0		0		0	
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>		<b>126,000</b>		<b>126,000</b>	予算：指定額
その他			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>32,913,005</b>	<b>0</b>	<b>32,913,005</b>	<b>0</b>	<b>32,913,005</b>	
内 差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	899,000	0	899,000	0	899,000
自主事業 収支	△ 899,000	0	△ 899,000	0	△ 899,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:霧が丘地域ケアプラザ

7年4月1日～ 8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・総合事業			認知症対応型		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,400		1,400	3,600		3,600	19,200		19,200	76,383		76,383	33,321		33,321
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	1,400	0	1,400	3,600	0	3,600	19,200	0	19,200	76,383	0	76,383	33,321	0	33,321
支出	人件費			0			0	16,800		16,800	48,380		48,380	22,037		22,037
	事務費			0			0	550		550	6,564		6,564	1,735		1,735
	事業費			0			0	840		840	13,102		13,102	4,754		4,754
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	0	0	0	0	0	0	18,190	0	18,190	68,046	0	68,046	28,526	0	28,526
	<b>収支 (A) - (B)</b>	1,400	0	1,400	3,600	0	3,600	1,010	0	1,010	8,337	0	8,337	4,795	0	4,795

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	よこはまシニアボランティア登録研修会	H26	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	横浜市が実施しているよこはまシニアボランティアポイント事業の研修を身近で受けられるようにし、事業の普及を図る。また、年複数回実施することで地域住民がボランティアに登録できる機会を増やすと共に、ケアプラザでの事業のボランティア活動に関心を持っていただく。	1: 高齢者		研修を受講したケアプラザ職員が講師となり、地域住民に対しよこはまシニアボランティアへの登録の説明を行う。				
2	利用者懇談会	H20	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザに登録している団体同士が交流し情報交換をすることで、各団体の活性化につなげる。また、館内の共通ルールの伝達及び確認をすることで、各団体への周知を図る。	5: 地域		登録団体が集まり、各団体の活動紹介や情報交換を行う。併せて館内の貸館ルールの伝達を行う。				
3	うたごえ倶楽部	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	懐かしい歌や季節の歌をピアノとギター伴奏に合わせて歌う機会を設け、閉じこもりや認知症を予防する。	5: 地域		ピアノとギターの伴奏に合わせ、唱歌や歌謡曲等をリクエストにこたえながら歌っていただく。会場設置、受付等を地域住民ボランティアに協力していただく。				
4	霧サボ手芸班	H27	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	手芸を通じ、ボランティアで地域に貢献するとともに仲間づくりをうながし、閉じこもりを予防する。近隣学校との連携を通じ、児童・生徒との交流も図る。	5: 地域		若葉台特別支援学校の生徒の体に合わせたクッションカバーや布教材を製作する。				
5	まちとも囲碁将棋サロン	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	誰でも気軽に囲碁と将棋を楽しめるサロンを設け、閉じこもりや認知症を予防し、世代間や地域住民同士の交流の機会を作る。	5: 地域		だれでも囲碁と将棋を楽しめるように場所と道具を提供する。夏休みには小学生に囲碁を教えて世代間交流を行う事業を実施する。				
6	スケッチ水彩画	H28	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	初めての方でも楽しめる指導で水彩画を描き、趣味の幅を広げる。趣味を共有することで閉じこもりや認知症を予防し、世代間交流や仲間づくりをすすめる。	5: 地域		初心者向けのスケッチおよび水彩画の教室を開催する。				
7	ぬりえアート	H27	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	誰でも気軽に始められるぬり絵をおこない、趣味にうちこもる楽しみを共有する。閉じこもりや認知症を予防し、仲間作りを進める。	5: 地域		マンガ塗り絵を中心に、初級・中級・上級と教材を準備し、講師指導のもと、塗り絵教室を開催する。				
8	もくもくひろば	H26	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	未就園児(0~3歳位)と養育者のふれあいの場を作り、子育ての情報交換やママづくりにも役立てる。また養育者の孤立や閉じこもり、虐待を予防する。	3: 養育者及び乳幼児		簡単な工作やパネル作り、音楽遊びを通して気軽な雰囲気の中で親子がゆっくりと過ごせる場を設ける。				
9	夏休み子どもプログラム(宿題サポート)	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みの子供の居場所を作るとともに、地域の元教員や塾講師にサポートしていただき、夏休みの宿題の手助けを行う	4: 子ども・青少年		地域の元教員や塾講師のサポートによる小学生の夏休み宿題サポートを行う				
10	夏休み子どもプログラム(キッズチャイニーズ)	H30	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所を作ることや、異文化体験を目的としている	4: 子ども・青少年		簡単な中国語会話や中国の話を聞き、異文化を知る。				
11	夏休み子どもプログラム(アート教室)	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	近隣の小学生向けに夏休みの工作教室をNPO法人レクタスの共催で行う。	4: 子ども・青少年		NPO法人レクタスの講師を招き、障害を持つ子供とともに工作教室を体験する。				
12	夏休み子どもプログラム(こども囲碁・将棋教室)	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。	4: 子ども・青少年		囲碁や将棋の初心者の小学生が囲碁・将棋を学ぶ。小学生と地域ボランティアの世代間交流も行う。				
13	冬休み子どもプログラム(書道大会)	H25	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がい児も参加できる環境を整えた書き初め講座を行うことで、小学生と高校生・住民の世代間交流を図る。	4: 子ども・青少年		地域の講師と高校生ボランティアの協力のもと、書き初めを行う。				
14	霧の里清掃(花植え)	H20	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	霧が丘連合自治会の沿道美化に合わせ、霧の里の花壇整備と花植えを行う。	5: 地域		霧の里内の花壇等の除草や整備、花植えを通じて、地域住民同士の交流を図る。				
15	はるかぜコンサート	H25	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ登録団体がコンサートへ参加して日頃の成果を発表することにより、意欲の向上や他団体との交流を図る。	5: 地域		日頃の練習の成果を発表する場としてリモートコンサートを開催し、YouTubeにて配信する。				
16	子育てまちともひろば	H28	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	第5木曜日に開催することで木曜日は全て子ども関連事業が開催されることとなる。身近な場所での居場所をつくり、また相談できる場として、木曜日に開催している子育て支援事業充実を図る。	3: 養育者及び乳幼児		リトミックやヨガなど養育者の興味のあることで交流し、親子のふれあいの場として提供する。				
17	あおぞら霧が丘ほっと〜む	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がい者支援事業として気軽に参加できる場を提供し障がいの理解を深める。	2: 障害児・者		ケアプラザを利用する登録団体の協力により、歌やヨガ、ダンスを通じて、障害者の方が地域と交流できる場とする。				
18	霧が丘まちとも はつらつ体操	R3	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	体操をしたいと思っている人が、気軽に参加できるような環境を作り、まちとづくりから見守りにつながる体操教室とする。	1: 高齢者		音楽に合わせたストレッチ運動で体をほぐし、ロコモ予防のためのバランス機能・筋力アップ体操と認知症予防のための脳トレ体操を行なう。地域ボランティアに運営を協力していただき、地域での役割作りを図る。				

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催 (1と2)	5: 共催 (1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催 (2と3)	7: 共催 (1と2と3)				7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
19	健康チェックの日	H20	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	日頃から健康を意識し、病気の早期発見、健康増進介護予防活動につなげる機会とする。	5: 地域		体組成測定、身長・血圧測定などの計測。骨の強度測定、血管年齢測定、足指力測定 今年度はコロナ禍のため、感染対策を踏まえた開催方法を確保し定期的な打ち合わせを実施。新メニューである足指力測定の研修も行う。				
20	まちともカフェ	H28	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域住民の仲間づくりや閉じこもり予防の支援と認知症への理解を促す。	5: 地域		ぬり絵、スケッチ、手芸など趣味を楽しみながら地域の仲間との時間を過ごすとともに、ケアプラザからの認知症に関する情報提供など、日常の中での認知症への理解や支援方法を学ぶ機会を持つ。				
21	世界遺産を学ぼう	R1	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	世界遺産の基礎知識を身に付け、国内外の世界遺産を学ぶことで、知的好奇心を満たし、講師への質疑応答を通じて講師や参加者との交流を図る。	5: 地域		世界遺産のマイスターを取得した講師より、世界遺産について学ぶ。1回に付き、3~4か所の世界遺産に触れることで、国内外に対する見識を深める。知的好奇心を満たすとともに講座に参加するという外出の機会を増やす。				
22	敬老月間イベント「シニア向けスマートフォン講座」	R2	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らすことで、身体活動を活発にしたり、心身をリラックスすることで、介護予防に役立てる。	1: 高齢者		音楽を楽しむことで脳トレや身体活動につなげ、介護予防する。				
23	霧が丘フォトコンテスト	R3	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	あるテーマを決めて写真を募集しフォトコンテストを行う。展示観覧の目的で来館する機会を創出し、地域住民同士の交流やケアプラザの周知につなげる。	5: 地域		今回は「横浜のお気に入りのスポット」として写真の募集し館内展示の上、一般投票で優秀賞を決める。				
24	霧が丘川柳	R3	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	川柳を広く募集しコンテ使途することで、地域住民の交流やケアプラザの周知につなげる。	5: 地域		「私の健康の秘訣」をテーマに川柳を募集し館内展示の上、一般投票で優秀賞を決める。				
25	夏休み子どもプログラム(工作教室)	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みの子どもの居場所づくりとして紙すきの教室を行う。た学年の子どもや地域のボランティアなどとの交流を行う。	4: 子ども・青少年		牛乳パックから紙を作り、リサイクルの意識を高める。				
26	霧サボ交流会	H26	4: 共催 (1と2)	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ事業に協力していただいているボランティアとよこはまシニアボランティアの登録者を集め、活動の様子や意見交換をして、今後の活動に役立てていただく。同時にこれからのケアプラザの事業のサポートを依頼する。	5: 地域		それぞれのボランティア活動についての発表や報告を行い、交流をする。				
27	もくもくひろばホームカミングデイ	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	もくもくひろばを卒業した幼稚園等のことを中心に交流会を持ち、切れ目のない子育て支援を行うとともに、地域での交流の幅を広げる。	3: 養育者及び乳幼児		お菓子作りや輪投げなどお祭り要素を取り入れ、楽しみながら交流するとともに、工作や音楽遊びなどで成長を確認する機会とする。				
28	夏休み子どもプログラム(絵手紙教室)	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。	4: 子ども・青少年		うちわに絵手紙を描き、表現方法を学ぶ。				
29	夏休み子どもプログラム(カイクの秘密と工作)	R5	5: 共催 (1と3)	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。また、カイクのまゆから紐が作られることを学び、SDGsの意識を高める。	4: 子ども・青少年		カイクの一生を学び、カイクのまゆを利用して工作を行う。				
30	ハッピーパパ育児	R3	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	父親ならではの子育てのかかわり方を学び、地域との交流も図る。	5: 地域		横浜市の父親育児支援事業より講師を派遣していただき、体を使った遊び、絵本読み聞かせなどを教えていただきながら、父親同士の交流も図る。				
31	親子deヨガクラス	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	忙しい子育ての合間にリラックスできる時間が持てるように親子でできるヨガを取り入れた活動を行う。養育者の息抜きと交流の場として、また、親子のふれあいの場として設ける。	3: 養育者及び乳幼児		ベビー&ママヨガの講師を招き、ヨガ体験でリラックスする。				
32	公園であそぼう	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	外の自然を見て触って、感じて、五感を使って楽しみながら、子育ての悩み相談や、近所に住む方との国際交流も含めた交流の場を設ける。子育て支援拠点いっぽ、国際交流ラウンジとの共催事業。	3: 養育者及び乳幼児		緑区のケアプラザがそれぞれの近隣の公園で1年間持ち回りで行う。子育て支援の参加者のみならず、公園に居合わせた親子や外国人の親子などを対象とし、ケアプラザの周知にも努める。				
33	子育て座談会	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て中のお母さんから、子育てをしている中で具体的にどんな手助けや声掛けがあるよいか、現状のニーズについて率直な意見を聞き、今後霧が丘の子育て支援活動(地域ケアプラザ等)での事業やプログラムなどに活用する。	3: 養育者及び乳幼児		霧が丘地域に住む子育て中の保護者5組に来ていただき、ざっくばらんに話をさせていただく。緑区の子育て支援者とも共有する。				
34	もくもくプラス親子リトミック	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援事業として0歳~3歳の子どもとその養育者の交流、情報交換の機会を持つ。さらにNPO法人リトミック研究センター指導資格所持ピアノ講師の先生に、親子で楽しめるリトミックで子供との交流の場を作る。	3: 養育者及び乳幼児		奇数月第4木曜日開催 NPO法人リトミック研究センター指導資格所持ピアノ講師の先生が親子で楽しめるリトミックを行う。				
35	親子でLet's Enjoy English	R7	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援事業として未就学児とその養育者の居場所づくりの機会を持つ。さらに、小・中・高英語教員資格所持講師の先生に英語を身近に楽しめる音楽遊びや絵本でこどもの英語を介して交流の場を作る。	3: 養育者及び乳幼児		奇数月第2木曜日開催。小・中・高英語教員資格所持講師が親子で楽しめる英語講座を行う。				
36	わが町、横浜の歴史を学ぼう!	R7	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	私たちが暮らす横浜の歴史や文化の知識を身に着け地域のことを学ぶことで知的好奇心を満たし、講師への質疑応答を通じて、講師や参加者との交流を図る。	5: 地域		歴史・金融について地域で広く講座の講師を務める講師により横浜の歴史について学ぶ。3回シリーズで行い1回につき1テーマの横浜の歴史を学ぶことで私たちの住む横浜に対する知識を深める知的好奇心を満たすと共に講座に参加するという外出の機会を増やす。さらに外出困難な参加者にも楽しんでいただけるようにZoom配信のハイブリット講座を行う。				

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組み	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
37	資生堂共催 フレイル予防の美容講座	R7	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	敬老月間のプログラムとして多くの方に声をかけ、資生堂を招きケアプラザで美容教室を楽しみ、交流しながら介護予防につなげるために行う。	1: 高齢者		9月の敬老月間に合わせ、資生堂を講師として招き、地域の方に広く美容講座を行う。健康と美を意識した生活により外出の機会を多く持つために開催する				
38	抱っこヒモ講座	R7	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	抱っこヒモアドバイザーの講師を招き抱っこヒモによる身体への負担を抱える養育者の息抜きと交流の場として身体だけでなく心もリフレッシュする場を目的とする	3: 養育者及び乳幼児		第5木曜開催。抱っこヒモアドバイザーの講師を招き正しい姿勢を学ぶことで養育者の身体への負担を軽減する方法を教えていただきながら養育者同士の交流を図る				
39	新1・2年生のババママ集まれ	R6	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学校に進学する子どもの養育者から入学準備や入学にかかわる疑問や不安について意見を聞き、不安を解消し養育者とその子どもが安心して進学できる手助けをする場を設ける	4: 子ども・青少年		小学校入学説明後に開催。新1年生の疑問に答えるのは新2年生の養育者にサポートを依頼し最新の情報を提供してもらい、養育者の情報交換会の間の子どもたちは地域のボランティアの見守りの中、新1・2年生同士の交流の場とする。				
40	認知症サポーター養成講座	H21	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	地域住民に認知症の正しい理解と支援方法を学んでいただくとともに地域のメイトのスキルアップを図る。またサポーターからメイトへの支援もしていく。	5: 地域		登録サークル参加者及び地域住民対象に認知症について正しく理解してもらい、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を養成し、さらに発展させメイトの資格取得も促し地域での活動を担える人材を育成する。				
41	行政書士による個別相談会	H24	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	元気な今だからこそ、家族のために、自分のために、誰もが迎えるその時のために、準備しておくことが大切であると考え、遺言・相続・成年後見に関する相談会を企画。	1: 高齢者		行政書士による遺言・相続・成年後見に関する無料個別相談会を実施する。				
42	初めての終活講座 (霧が丘版LIFEノート書き方講座)	H30	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	霧が丘地域では高齢化率が高い、老後生活について今から学び備えることが必要である。住民主体で作った「LIFEノート」を活用し、老い支度の普及啓発を行う。	1: 高齢者		住民主体で作ったノートや冊子を活用し、老い支度の普及啓発を行う。				
43	介護者のつどい	R1	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	介護者の精神的な負担を軽減、介護の孤立化を予防し虐待予防を図る。	1: 高齢者		家族介護者に施設見学や介護についての情報提供や介護者同士のつながりを作りお茶でリラックスしながら情報交換や体験談などを語り合っていた。原則として偶数月の第4水曜日午後を予定。				
44	霧が丘いきいき健康塾 体操	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、ケアプラザで楽しみながら体を動かすことで社会参加と介護予防につなげるために行う。	1: 高齢者		健康を維持するために、動き続けていくための身体づくりの運動を行う。				
45	霧が丘いきいき健康塾 歌って楽しく健口に	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、歌うことで口腔機能の維持、フレイル予防のために行う。	1: 高齢者		音楽療法士の講師による講座でお口の働きを学ぶとともにお口の機能を維持するために楽しみながら歌う。				
46	霧が丘いきいき健康塾 フレイル予防のための栄養講座	R5	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、おいしく食事をするためには何が必要なかを学び、フレイル予防につなげる	1: 高齢者		フレイル予防のために栄養をしっかり摂ることが必要なことを学ぶ。食事作りが難しい時の配食サービスの案内を行う。				
47	UR出張相談会	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	UR賃貸住宅にお住いの方にケアプラザや包括支援センターの周知をするともに相談しやすい体制づくりを行う	1: 高齢者		4月、7月、10月、1月の年4回、UR賃貸住宅の集会所に出張し、測定機器を用いた健康チェック及び相談会を行う				
48	出張健康講座	R2	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	霧の里に普段来所する機会が少ない方々を対象に、介護予防に興味を持つきっかけ作りとして開催。口腔の健康や認知症予防のために必要な知識を学ぶ。	1: 高齢者		フレイル予防のために必要な運動、口腔、栄養の講座を全3回で開催する。				
49	落語で学ぼう!自分らしく生きるための終活講座	R7	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	老い支度の普及啓発、エンディングノートの周知、及びMSO研究部のLIFEノート書き方講座の支援の強化のために開催する。	1: 高齢者		終活について落語を聞きながら学び、自分の人生に悔いなく生きるために何が必要かを学ぶ				
50	GT1ダイエー健康相談会	R6	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	GT1の移動販売の周知、ふらっとほっとGT1の周知、地域活動への参加を促すために行う。	1: 高齢者		R7.6.13の移動販売の日に開催。ダイエーからは血管年齢測定、鉄分摂取量測定、健康相談、防災に関するローリングストックの紹介を行う。GT1の保健活動推進員によるベジチェック、ケアプラザからはケアプラザの周知を行う。				
51	チームオレンジ 映画上映会	R6	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・チームオレンジの啓発活動 ・多世代の方が認知症について考えるきっかけ作り	5: 地域		認知症について学ぶきっかけとなる映画の上映会の開催。				
52	チームオレンジ 「ロバ隊長」を作ろう	R6	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・チームオレンジの啓発活動 ・認知症キャラバン・メイトのマスコット作りを通して、認知症について知ってもらい、認知症について考えるきっかけをつくる。	5: 地域		認知症キャラバン・メイトのマスコットをフェルトで製作するためのキット作り。				